

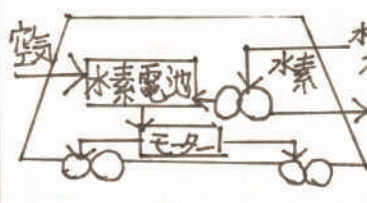
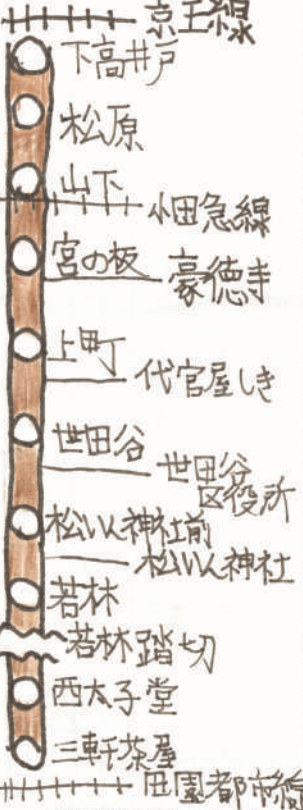
# みらいの世田谷線新聞

発行所 山田峻大  
発行日 2020年8月

## 再生可能エネルギーを活用したエコな世田谷線!

世田谷線は玉川線の支線で一九六九年に玉川線廃止にともない、世田谷線も廃止される予定でしたが専用きこうであったことなどから残されて現在にいたっています。世田谷線は下高井戸～三軒茶屋間5kmに10駅があり、東京に2つある路面電車のひとつです。50年間住民の足として利用されています。また、沿線の歴史をたずねて観光客が増加しています。世田谷線は二〇一九年より再生可能エネ

## 路線図



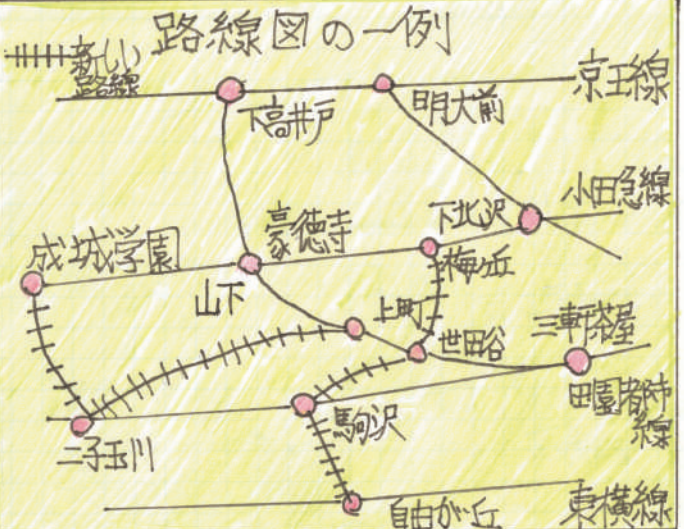
おいて走れば、世田谷線はもっとエコな電車になります。また、自走が可能となるので、電線が不用となり、保守作業も楽になります。

## 水素利用でもっとエコに

水素エネルギーの利用は、CO<sub>2</sub>を排出しない占いでエコな取組みです。電車に水素燃料電池を

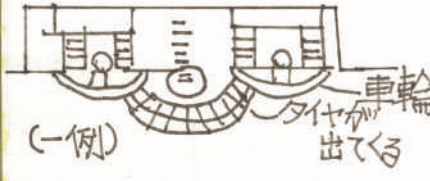
## 世田谷の南北に路線を

世田谷の鉄道は、渋谷・新宿を起点とした東西の路線が中心で、南北を走るのは世田谷線(上町～下高井戸)しかありません。水素で走れる電車が実現すれば、南北に線路をしくだけて路面電車が走れます。世田谷には約90万人が住んでいるので、南北の移動ができれば都市としての強化が図れると思います。



## 軌陸利用でもっと便利

軌陸利用とは線路と道路を走れるようにすることです。水素利用の電車にタイヤを組み込み、道路を走れるようにすれば、線路と切り離して自在に走ることができ、例えば三軒茶屋の駅から道路を走って下北沢まで行くことが便利です。



## 編集後記

水素エネルギーも軌陸利用もすでに実現しています。電車に応用しないのは、電車が六分にエコな乗物だと考えられていたからだと思います。とはいっても電力を作ることから始まる水素エネルギーの検討は必要だと思います。